



ごはん



我々が昼食に訪れたのは、夕日が丘商店街にある『喫茶ビクトリヤ』。扉を開けるとそこは昭和の喫茶店。赤いシートの椅子に大理石調の机、本棚にはあの頃の少年少女たちが熱中したであろう雑誌やコミックが並んでいる。注文したのは喫茶店の定番メニュー、ナポリタン。太麺にしっかりと絡んだケチャップソース、具材には皮の赤いウインナーが使われており、時代を感じる一品であった。さらに注文したのはハットケーキ。名前からすでに昭和の香りがする一品である。バターが染み込むホットケーキに、メープルシロップをかけて食べるスタイルは至つてシンプルだが、故に優しい味をしつかり楽しめた。食後にはカラフルな見た目が可愛らしいクリームソーダを堪能。昭和レトロな食事を満喫することができた。

ビクトリヤの他にも、商店街には食事や食べ歩きを楽しめる店が多数並んでいる。今回我々がいただいたサクサクのコロッケや大きくて冷たいリング饅頭、懐かしのみたらし団子はほんの一部である。こちらを訪れた際は、ぜひバラエティ豊かな昭和グルメを味わっていただきたい。



まず我々が乗ったアトラクションは、『飛べ！ジャンブルの勇者レオ』。4人乗りの空飛ぶゾウの背中に乗って空中飛行を楽しんだ。次に乗ったのは『アトムの月面旅行』。アトムのイラストがあしらわれたカラフルなジェットコースター！そのかわいいビジュアルからは想像できないスリルが魅力で、特に旋回しながら風を切つて急降下する局面は爽快感満載だった。

その他にも『バイキング』や『オクトパス・アドベンチャー』など様々なアトラクションがあったが、とりわけ筆者の印象に残ったのは『ゴジラ・ザ・ライド 大怪獣頂上決戦』である。頭が3つもあるキングギドラという怪獣に襲われながら、特殊部隊の車に乗つて命からがら逃げるアトラクションで、もちろんゴジラも登場する。横一列に並んだ座席に座り映像によって楽しむものだ。大迫力の映像と効果音、そして温度や座席角度の変化など様々な工夫により、リアルなスリル感を味わうことができた。



アトラクション

まちなみ



アクセス：西武鉄道山口線 西武園ゆうえんち駅 下車すぐ

商店街から下に降りると、そこには小さな遊園地がある。コーススターやバイキングなどおなじみのものから、タコの足に繋がれて振り回されるようなアトラクションもあった。すこし塗装が剥げていたり、動きがぎこちないのもご愛嬌。たまにはこのような遊園地も、たまらない。

商店街では様々な催しが行われている。チンドンバンドの演奏、紙芝居に始まり、荒物屋が金物を叩き始めたりする。愉快な音がそこかしこで鳴り響くこの町は、少しばかり無機質な現代で日々を送る私たちに、人の温かさを感じさせてくれた。



商店街の住人たちが繰り広げる、たくさんのエンターテインメントショー。そのうちの一つが、米屋の中富によるポン菓子実演販売。タップダンスで刻まれるリズムに合わせて手を叩くうちにポン菓子ができる驚きの展開。「ポン」という爆発音を合図にたどようあまい香りにつられて、思わずポン菓子を手にとってしまう。中富さんによると、ポン菓子は実はアメリカ発祥なんだとか。



他にも、銭湯屋のよし子さんとの写真撮影や交番のお巡りさんによるラジオ体操など、個性溢れる住人達と身近に触れ合えるショーが催される。また園の中心では、商店街の住人総出で夕日の丘の魅力を全国に発信する公開番組収録、「夕日の丘ライブ！」が開催される。観客は収録に参加し出演者と一緒にUFOダンスを踊つて盛り上げる。日常では感じることのないわくわく感を味わえること間違いなし！

2021年春、「昭和レトロ」をコンセプトにリニューアルオープン。園内にはアトラクションのほか、昭和の街並みを再現した『夕日の丘商店街』があり、ショーやグルメを楽しむことができる。

今回はその一部を写真に切り取って紹介する。

この記事を見て興味が湧いたそこのあなた、ぜひ一度、西武園ゆうえんちで熱気あふれる昭和の世界へタイムスリップしてみては？

西武園ゆうえんち

